

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 4月28日更新

事務事業名		施設維持管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	議会事務局	課長名	米澤 伸仁
	施策	2	行政改革の推進	所属課	議会事務局	担当者名	水野 隆文
	施策の柱	10	開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線)	1311
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10932	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	議会運営に対応して、議会施設・設備の管理運営を行う。 平成2年庁舎新築により、議場、委員会室を設置、併せて録音機器を設置した。合併後、議員数の減少により議場内議席を撤去し、常任委員会の増により委員会室や録音機器を増やした。本会議場の機器設備の老朽化が見られたため、平成21年度中に音響設備関連機器の全面的な改修を実施した。 平成28年度に委員会室3部屋及び全員協議会室の録音機器（マイク、録音装置等）について、経年劣化や不具合が生じていたので、機器の更新を行った。 また、平成30年度には、会派室及び合志庁舎3階のWi-Fi設置環境整備を行った。
【業務の流れ】	年度当初に録音機器点検業務の委託契約を行い、6月定例会前を目安に点検を行う。不具合が見つかった場合は、補正予算等で予算措置をして、修繕・入れ替え等を実施する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
本会議場及び委員会室等の録音機器の点検を実施し、不具合箇所の有無の確認および調整を行った。	本会議場及び委員会室等の録音機器の点検を1回実施した。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 本会議、委員会等の開催日数	日	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
議場及び委員会室等	→ ア: 部屋数	部屋
	→ イ: 機材数	台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
適正な管理運営により、施設設備の性能を維持する。	→ ア: 会議中のトラブルの件数	件
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
本会議及び委員会等の音声・映像を適切に記録、保存するための設備であり、会議中のトラブル発生の有無により施設管理の状態を判断する。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア	日	60	58	100	55	100	100	100	100
	イ									
② 対象指標	ア	部屋	5	5	5	5	5	5	5	5
	イ	台	6	6	6	6	6	6	6	6
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	378	385	385	385	385	385	385	385
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	4	3	4	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	420	260	260	250	260	260	260	260
	(B) 人件費計	千円	1,664	1,025	1,035	977	1,035	1,035	1,035	1,035
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,042	1,410	1,420	1,362	1,420	1,420	1,420	1,420

事務事業名	施設維持管理事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 議会運営に対して議会施設・設備の維持管理を行っていく必要があるため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 議場のマイクについては、同等機器（保守部品含む）が製造終了となるため保守が困難になってくる。また、パソコンについても耐用年数を経過し、システムも古くなっているため更新の検討が必要だが、機械の不具合等が現在のところ特に発生していないため、更新時期の見極めが難しい。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 録音機器等特殊なものがあり、連携できない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 設備機能を保持するための点検のみ実施しているため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 点検業務は業者に委託して行っており、職員の人件費は最低限であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担を求める事務事業に該当しない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度に委員会室録音機器の老朽化に伴い、委員会室3室、全員協議会室1室の録音機器の更新を行った。今後は、議場のマイクとパソコン、パソコンシステムの更新が検討課題である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						